**JSDA　VA血管内治療認定制度　審査重点事項**

VA血管内治療認定制度の審査に当たり下記の点を必ず確認いたします。提出後の症例差し替えは認めません。原則提出された初回資料でののみの審査となります。追加資料の請求は致しませんので、必ず各自の責任で確認してから提出してください。

業績

□　VA血管内治療に関する発表を必須とします。メーカー主催は不可,共催であれば可。もしくは論文（基礎的・臨床的研究あるいは症例報告でも可）ただしメーカーの雑誌などでは不可

□　申請者自身のご施設でのPTA加療の症例に限ります。他院施行のPTAの合併症などの加療は対象としません。血管開放下に挿入してのバルーン拡張は対象としません。本資格はVA経皮的血管内治療施行に関する資格です。また最終的な可否は認定制度委員会が行います。

症例提示

* 初回申請時にはPTA筆頭術者に限ります。筆頭術者とはその手術に対してすべての方針並びに結果責任を負う術者を言います。手術記録の1番目に記載されていることを必須とします。
* 更新申請では術者のみならず指導的助手でも結構です。手術記録の術者あるいは助手としての記載が必要です。
* 本資格の大前提として、上位の法規を遵守が必須です。
* 内シャントPTAはKコードに収録された手術です。手術には医療法施行規則に則った記載内容が必須です。具体的には

手術記録には、次に掲げる事項が記載されていなければならない。

一 手術を行った医師の氏名

二 患者の氏名等手術記録をそれぞれ識別できる情報

三 手術を行った日

四 手術を開始した時刻及び終了した時刻

五 行った手術の術式

六　病名

上記が手術記録として同一フォーム内に記載されていない場合、手術記録として認めません。看護記録、放射線台帳、手術台帳などでは不可です。また記載内容の補完資料としても認めません。

* 上記に追加して手術ですから手術部位（左右）に関しても記載要
* 個人情報保護法の遵守

患者氏名、生年月日（ただし手術記録内に年齢が記載されていない場合、生年月までは残してください。年齢が不明では審査できません。）、住所、電話番号などは必ず適切にマスキングしてください。

PDFでの提出される場合、容易にマスキングが外れるような設定での修正は個人情報保護法に抵触します。どのような形態であれ、個人情報の漏洩に繋がる事象は、提出者の責任となります。消去後の再スキャンなどの方法を推奨します。

* 指定症例の症例番号を必ず、症例ごとに記載してください。審査員がＥＸＣＥＬと比較して確認の際に、症例番号ない場合には審査が困難です。症例番号の記載は審査をお願いする際の常識と考えてください。審査員が個々に順番調整するなどは行いません。
* その他、常識範囲内のことは微々細々に渡っての記載は致しませんが、提出の際にはよくご自身で良くご判断下さい。

2025年5月

JSDA認定制度委員会